

# 明るい漁村

第159号

- 発行日  
平成18年1月4日
- 編集兼発行人  
島根県漁業協同組合連合会
- 印刷所  
松村印刷株式会社
- 題字  
澄田島根県知事

## 漁業協同組合 JFしまね

～発足式特別号～



### もくじ

JFしまね発足式概要	2
JFしまね会長挨拶	3
県知事挨拶	4
漁連会長挨拶	5
信漁連会長挨拶	6
JFしまね誕生までの経過	6
新組合組織図	7
新組合の概要	8
新組合体制役員・支所長紹介	8

# 漁業協同組合 JFしまね発足式

元且に誕生した「漁業協同組合 JFしまね」の発足式が一月四日、本所の設置された松江市御手船場町の鳥根県水産会館で執り行われた。

発足式に先立って午前十時より正面玄関で「銘板除幕式」が関係者多数出席し拍手の内に除幕された。

発足式では、職員や行政関係者約八十人が出席。会長に就いた岸宏県漁連会長より「組合員が一体となって活力と魅力あふれる漁村



挨拶をする岸会長



祝辞を述べられる法正農林水産部長

形成のため、何事にも積極的に挑戦する」また「県内の漁業環境は厳しい状況にあるが、信頼と挑戦を基本理念として、まずは組合員の信頼を得ることを優先したい」と挨拶をした後、事務局が経過報告を行った。続いて本県漁協系統組織の顧問でもある青木参議院自由民主党議院会長より、また鳥根県農林水産部法正部長より祝辞を頂いた。県内十一カ所に設置された支所の運営委員長を代表して、谷

口一春美保関支所運営委員長に、岸会長から委嘱状が手渡され、各職員にも辞令が交付された。当日は、報道関係も多く集まり、組合員数など全国最大規模となる漁協となることに加え、四月一日には県漁連・信漁連を同時包括承継という全国で初めての例となる鳥根の漁協合併に対する県内外の社会的関心の高さがうかがわれた。



辞令を受ける職員



委嘱状を受取る谷口運営委員長



乾杯



参加者一同



# 挨拶



漁業協同組合 JFしまね  
代表理事会長

岸 宏

新しい年を迎え謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、「漁業協同組合 JFしまね」は昨年十二月二十八日に島根県から設立認可され、本年一月一日に誕生しました。

本県漁協系統運動の五十有余年の歴史の中で、幾多の困難を克服し本県の系統組織の礎を築き上げられた先人のご努力に心から感謝と敬意を表すとともに、新組合の設立にあたりまして、各漁協役員、組合員の皆様の深いご理解と、県、市町村等関係機関の絶大なるご支援に深く謝意を表します。

新組合は、沿海漁協二十組合が合併し、組合員数約一万二千名、販売取扱高約二四七億円の全国で

も最大規模の漁協として誕生いたしました。また、本年四月には、

島漁連、信漁連も包括承継のうえ名実ともに「漁業協同組合 JFしまね」としてスタートいたします。

島根県の漁協系統組織の再編につきましましては、昭和六十三年に漁協組合長会議で「島根県漁協合併構想」が打ち出され（沿海漁協四十五組合）平成元年に十一組合に集約する合併構想が決議されました。その後平成五年には第二次構想（県下六漁協構想）平成九年には第三次構想（新二十一世紀構想）が策定され漁協合併に取組んで参りました。その間平成十年までに六つの地区で合併が実現しましたが、急速に悪化する漁業環境、漁協の経営環境に対処するため、平

成十四年の漁協組合長会議、漁連・信漁連の通常総会において平成十七年度中に漁協合併と連合会の包括承継によって一県一漁協を設立する決議がなされました。そして、

その目的を達成するため、行政・系統団体・関係団体を母体に平成十四年十月に島根県漁協合併推進協議会が発足し、一県一漁協の設立に向けた取組を推進して参りました。この間延べ百回を超える地区座談会等を開催し、組合員の皆様と意見交換を行って参りました。

「JFしまね」設立の目的は、組合員の所得向上、安全・安心・新鮮な「しまねのさかな」の提供、地域社会への貢献であります。

組合員の所得向上のためには、共通仲買制の導入及び漁協の買取販売による魚価の向上、生産資材の一括仕入による生産コストの削減、組織統合による二重販売手数料の解消、漁協と連合会の一体化による組合員の負担軽減に取り組みます。

安全・安心・新鮮な「しまねのさかな」の提供には、品質管理、認証制度による魚の信頼確保と安

定供給、消費者と築く「地産地消」の推進、漁民の森づくりと食育の推進を行います。

地域社会への貢献では、漁業、漁村が持つ他面的機能の維持と増進、若い担い手の育成、地域のリーダー養成、都市の住民や他の協同組合との積極的交流を行います。

一方、組合運営を活性化するため、旧漁協単位に「支所運営委員会」「地区運営委員会」を設置することとしました。理事・監事・総代（一四五名）の皆様が新組合の経営に参画することは勿論ですが、支所運営委員会十一箇所、地区運営委員会十五箇所が設置されそれぞれ二九名、三四三名の方々が委員に就任されました。支所・地区運営委員の皆様には組合員の意見を集約し新組合の運営にお力添えを戴きたいと考えております。

新漁協の役員一同、合併の目的を果すため最大限の努力を致す所存でありますので、今後一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# 挨拶



島根県知事

澄田信義

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年を迎えられ、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

元旦には県下二十の沿海漁協の合併により、「漁業協同組合JFしまね」が誕生しました。本県の水産業の明るい将来に向け、大きな歴史の一頁が記されましたことを、心からお祝い申し上げます。

県下の各沿海漁協と島根県漁業協同組合連合会、島根県信用

組合員の皆様におかれましては、漁協組織の大規模な合併には様々な不安があったものと推察いたしますが、それぞれの立場を尊重しながら困難を乗り越え、漁協合併を選択されたものと考えております。

県としましては、水産業の健全な発展を中心となって担う漁協

の経営基盤を強化し、流通対策や就業者確保などの課題に対して組織的な取り組みを一層促進するためには、漁協合併が最も有効な手段であるとの考えから、可能な限りの支援をしてきたところであります。今後も、本年四月に予定されている連合会の統合が順調に進むよう、また新設漁協「JFしまね」の運営が円滑に行われるよう、皆様と力を合わせて取り組んでまいりたいと考えております。

本県の水産業を取り巻く状況は、漁業者の高齢化や魚価の低迷など厳しい状況にありますが、皆様とともに知恵を出し合い、一体となって、我が島根の水産振興に取り組んでまいりますので、御理解と御協力をお願い申し上げます。

JFしまねが誕生した今年の元旦は、素晴らしい晴天となり、明るい展望を予感させる年明けとなりました。全国最大級の規模となるJFしまねが、名実ともに日本一の漁協として、本県の産業振興を支える組織となれることを期待します。

皆様のますますの御健勝と、操業の安全並びに大漁を祈念しまして、年頭の御挨拶といたします。

漁業協同組合連合会におかれましては、組合員の信頼と負託に応えるとともに地域や社会に貢献する自立した組織となるべく、一県一漁協の構築を目指して、平成十四年に島根県漁協合併推進協議会を結成されました。以来、三年半の長きにわたって真摯な協議を積み重ねられ、このたびの合併を成し遂げられました。この間の合併参加漁協並びに水産系統団体の皆様の御尽力に對しまして、深く敬意を表する次第であります。

# 挨拶

島根県漁業協同組合連合会  
代表理事会長

岸

宏



新しい年を迎え謹んで新春のお慶びを申しあげます。

昨年一年、本連合会の各種事業推進にあたり格別なご支援、ご協力を賜り心より厚くお礼申し上げます。厳しい漁業情勢の中で本県水産業発展のためご尽力戴いております漁業者の皆様方、漁協役員員の弛まぬご努力に深く感謝と敬意の意を表するところであります。

昨年を顧みますと、漁業資源の低レベルでの推移、引き続き産地魚価の低迷、漁業生産コストの主

要な部分を占める石油製品の高騰、さらに一昨年の十倍ともいわれるエチゼンクラゲの大量異常発生により県下漁業が多大な影響をうけ、

漁業者の皆様方の苦しみは計り知れないものであります。一方、水産物を関税撤廃の対象と位置づけたWTO交渉について、これ以上

の水産物輸入増は漁業者にとって死活問題であることから、漁業の特性に配慮した日本提案の実現について引続き求めて参りました。

さらに、新日韓漁業協定発効以降依然として本県沖合の暫定水域は韓国漁船に独占的に漁場占有されていることから、両国の操業秩序の確立を図るために兵庫・鳥取・

島根三県日韓暫定水域対策協議会を三県選出国會議員の支援のもと毎年三県知事の出席を得て懇談会を開催し、暫定水域の窮状を訴えるとともに抜本的対策について政府、国会に要求致しました。

三月には、「光輝く漁村の未来」をテーマとした第二十三回島根県漁業協同組合大会を開催し、荒天にも拘らず全県下より千二百名の

組合員のご参加を戴き、「漁業協同組合JFしまね」の設立に向けての大きなステップとなりました。

大会では、「島根県一漁協」の設立と新漁協における漁協運動の進め方及びその推進決議並びに本県漁業者の永年に亘る悲願であり

ます竹島領土権確立に向けて決議がなされると共に、島根県議会におかれましては、竹島が明治三十八年の島根県告示から百周年を迎えたのに合わせ、二月二十二日を

「竹島の日」とする条例が可決されたことで、全国的な反響を呼び、国民世論が大きく喚起したことは

問題解決への第一歩となり、一日も早く竹島の領土権が確立されることを期待するものであります。

また、十一月には燃油高騰対策として「燃油高騰緊急対策島根県本部」を設置し、関係先に要請して参りました。これらを受けた国

では、燃油価格高騰・大型クラゲ被害に対応した緊急対策として十二月末に「経営体質強化緊急総合対策基金」を造成して、十七・十八年度において対応していくこと

となりました。本会としては、この基金を最大限に利用し、本県漁業者の負託に応えて参る所存であります。

さて、本年は新漁協発足の歴史的な年であり、四月一日には、漁連・信漁連の包括承継により、名実共に全国に誇れる「漁業協同組合JFしまね」誕生となる重要

であり記念すべき年であります。これまで関係組合長さん役職員各位・組合員の皆様方には精力的にご検討を賜り、真に「一人は万人

のために、万人は一人のために」の協同組合精神に基づき、新漁協設立に至りました事は感激の極みであり、そのご決断に改めて深甚なる敬意と感謝の意を表する次第

であります。本会と致しましては新漁協への包括承継を最大目標に、最大の努力を注ぐ所存でありありますので、本年も格別なご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、皆様方の一層のご繁栄とご健勝を心より申し上げ、新年のご挨拶と致します。

年のご挨拶と致します。

# 挨拶

島根県信用漁業協同組合連合会  
代表理事会長

永田 正 二



新年あけましておめでとうございませう。また、本年一月一日より島根県下の沿岸漁協が合併しJFしまねが誕生したことに對しまして重ねてお祝い申し上げます。

昨年は系統信用事業に對しまして格段のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、来る四月一日には信漁連も県漁連とともに包括承継する運びとなっております、いよいよ

全国で最大規模の総合漁協が実現することになります。

その中で、系統信用事業は漁業生産活動を維持するための血液であり、組合員の皆様の生産活動と生活向上に寄与していかなければならないと認識しております。

しかしながら、本年も金融情勢は依然厳しい状況が続くものと思われ、今後も金融機関を取り巻く状況は従来にも増して様々な規制の強化が加えられようとしております。漁業系統信用事業も例外ではなく一般の金融機関と同様に更なる体質や体制の強化が求められております。

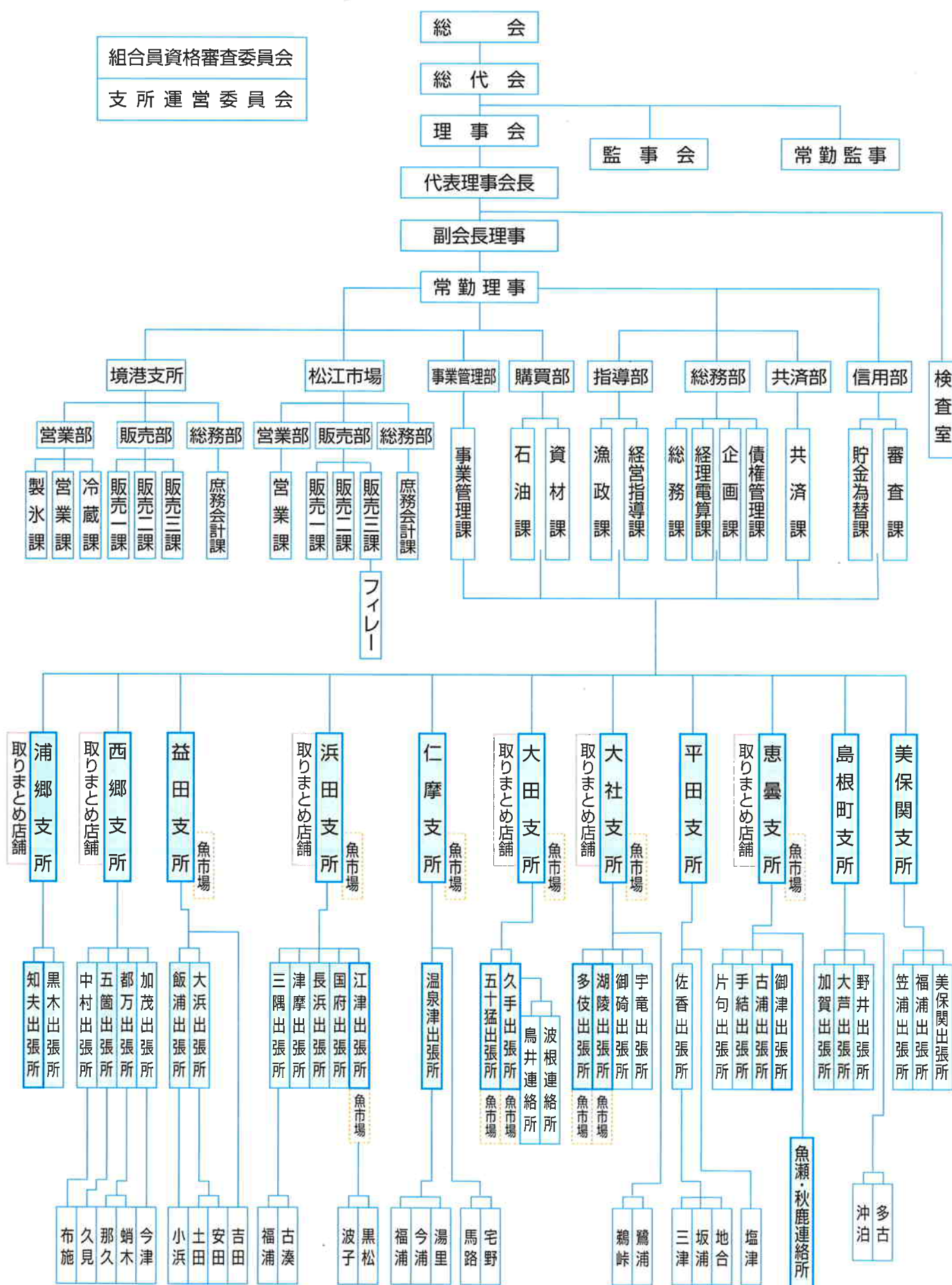
それらを乗り越えるために、今後も役員一丸となり邁進していく所存でございますが、そのためには組合員の皆様のなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

どうか本年もJFしまねのマリンバンクとしてよろしくお願ひ申し上げます。

## 「漁業協同組合JFしまね」誕生までの経過

期 日	経 緯	備 考
昭和63年 9月16日	組合長会議	島根県漁協合併構想(案)承認 漁協合併推進本部設置(沿海45漁協)
平成元年 2月10日	組合長会議	第1次構想を決定(45 → 11)
平成5年 4月23日	漁協合併推進本部委員会	第2次構想を決議 県下6漁協構想
平成6年 9月 1日	島根町漁協発足	
平成7年 1月 1日	大田市漁協発足	
平成8年 7月 1日	美保関町漁協発足	
平成9年 4月 1日	都万村漁協発足	
3月 5日		(第3次構想)新21世紀構想の作成
平成10年 5月 1日	平田市漁協発足	
平成14年 5月29日	組合長会議	1県1漁協の17年度達成を決議
10月29日	島根県漁協合併推進協議会の発足	
12月 1日	浦郷漁協発足	
平成15年 2月 3日	はまだ漁協発足	
6月 2日	おき西郷漁協発足	
6月17日	島根県漁連 通常総会	1県1漁協合併推進に関する特別決議を採択
6月18日	島根信漁連 通常総会	
平成16年12月 7日	常任委員会(第11回)	合併の基本的事項の決定
平成17年 1月	集落座談会の開催(地区単位で開催、延べ100箇所)	合併の基本的事項等について 1月~5月
7月 1日	合併仮契約の調印	
10月 1日	合併(臨時)総会	19漁協が合併決議
10月19日	合併(臨時)総会	1漁協が合併決議
12月22日	合併認可申請書提出	
12月28日	合併認可書交付	
平成18年 1月 1日	設立	

# 新組合組織図



# 『漁業協同組合JFしまね』の新体制

## 【理事】

代表理事 会長 岸 宏

副会長 理事 団野 清 (島根町支所運営委員長)

金坂 敬 (浜田支所運営委員長)

池田 隆二 (西郷支所運営委員長)

谷口 一春 (美保関支所運営委員長)

樋野 健治 (平田支所運営委員長)

牧野 正義

山本 千代則 (恵曇支所運営委員長)

扇谷 豪 (浦郷支所運営委員長)

曾田 利行 (大社支所運営委員長)

吉原 幸則 (仁摩支所運営委員長)

米田 政義 (大田支所運営委員長)

中島 謙二 (益田支所運営委員長)

永田 正二

築谷 允行

## 【監事】

代表監事 月森 陸

監事 小笹 博

矢田 辰夫

神門 勉

## 【本所】

参事 総務部長取扱 原 司 (平成18年1月4日付 発令)

総務部 総務課長 安木 英二 (平成18年1月1日付 発令)

## 【支所】

美保関支所 支所長 林 保博

高根町支所 次長 松本 美夫

恵曇支所 支所長 小灘 初務

平田支所 支所長 川上 省自

大社支所 支所長 落合 孝悦

大田支所 支所長 古福 陽一

仁摩支所 次長 浜崎 和信

濱田支所 支所長 山根 裕二

益田支所 次長 田儀 好孝 (温泉津出張所担当)

西郷支所 支所長 吉本 礼二

浦郷支所 支所長 岩根 重美 (江津出張所担当)

益田支所 支所長 大達 光徳

西郷支所 支所長 沢安 信

浦郷支所 支所長 保田 時夫

浦郷支所 支所長 徳若 博

## 【新設出張所】

恵曇支所 御津出張所長 小笹 林一

恵曇支所 魯瀬秋鹿連絡所長 川上 省自 (兼)

大社支所 多伎出張所長 浜 豊

大社支所 湖陵出張所長 古福 陽一 (兼)

大田支所 久手出張所長 浜崎 和信 (兼)

大田支所 五十猛出張所長 三井 克浩

仁摩支所 温泉津出張所長 田儀 好孝 (兼)

濱田支所 江津出張所長 岩根 重美 (兼)

浦郷支所 知夫出張所長 徳若 博 (兼)

# 『漁業協同組合JFしまね』の概要

■設立 平成十八年一月一日

■登記 平成十八年一月四日

■合併参加組合 沿海二十漁協

■事務所 本所・松江市

■支所 十一支所

美保関・島根町・恵曇

平田・大社・大田

仁摩・浜田・益田

西郷・浦郷

■組合員数 一三、二〇三名

正組合員・四、五八一名

准組合員・八、六二二名

■総代数 一四五名

■出資金 三五億円

■役員数 理事 一五名

監事 四名

職員数 四〇九名

## 編集後記

昨年末から時化が続き、年末年始になると風になるなど心配な天候が続きますが、昔から一年間の時化と風は一緒と聞いたことがあります。今年はその言葉を信じ「JFしまね」の船出を祝います。

小